

お寺のデイサービス

還る家ともに

かえるいえ

生と老いと病と死と、
喜びも悲しみも、ともに歩みたい…
誰もがいつでも
心の深呼吸ができる場所

〒244-0002

横浜市戸塚区矢部町125

電話 045-881-0348

FAX 045-881-0379

E-mail@zenryouji.jp

http://www.zenryouji.jp

発行責任 善了寺還る家ともに

還る家 ともに日誌

8月27日から31日まで夏祭りを行いました。ヨヨーつり、射的、輪投げ、金魚すくい、盆踊りなどを、ゆかたや、じんべい姿で楽しめました。子ども心に戻って、みなさん、笑顔いっぱい、顔の筋肉が緩みっぱなし・・・中でも、近所の横浜保育室のお子さんが遊びに来てくれた日は、子どもたちの踊りを目を細めて優しく見守るお年寄りと、無邪気てかわいい子どもたちが触れ合えた理想の夏祭りとなりました。



ヨヨーつりは、みんな大好き。けど、じいちゃんたちは、コツを知ってるのサ!



久しぶりの盆踊りあら? 体がおぼえてるわねえ!



アンパンマン音戸の披露に、ばあちゃんたちは、感動で、涙がポロリ



子どもたちよ。じいちゃんの踊りも迫力あるゼイ!



敬老週間

9月10日(月)18日(火)21日(金)

9月17日は敬老の日です。その日はデイサービスはお休みになりますので、10日・18日・21日に敬老週間として、フラワーアレンジメントを一緒に楽しめたらと思います。デイサービスで作る楽しみ、そしてお家に飾って観賞していただけたらと思います。

研修報告

コミュニケーションワーカーになりませんか	コミュニケーションワーカーになりませんか
<p>人は、まず、聞いてほしい。無力だが、そのことだけで、どれだけ心強いことか。思い出がふるさとになる。関わりを持つから還る家になる。人は、向き合うから、キズつく。しかし、向き合うから、分かり合え、癒される。謙虚さを忘れた思いやりはただのおしつけにしかならない。関係性、共感性、自己肯定感、この3つがぐるりと回っている。利用者さんの話を聴くこと、共感すること、話しやすい関係をつくること、介護されていると思わせない様に、共に過ごしていると思える関係を作りたい。</p>	<p>無関心は、一番良くない。関わらずに過ぎていく日々は、何も残らない。「ぼーっ」としないで、しっかり目を開けて、積極的に見ていくという言葉に共感を覚えました。まずは、どんな時でも、関わることを中心において、その関係性の中で、何でも話してもらえるような、関わりをしたい。何でもが無理ならば、せめて、信用を裏切らないような関わり方をしていく。また、スタッフや、ボランティアさんとも、率直で、何でも言い合える関係づくりを努力したい。</p>
池田 新	神代 洋子

編集後記

園芸のボランティアをしてくださっている土田さんが、オルガンを寄付してくれました。息子さんのために購入されたもので、30年くらい前のものでしょうか？グランドピアノでも出せず、今流行の電子ピアノでも出せない、やわらかな優しく、なつかしい音色です。30年前、土田さんの息子さんと奥様が、このオルガンで、どんな曲を弾かれたのかなあ、と、思いをよせると、更に、歴史と温かさを感じます。デイサービスで、オルガンの周りに集まって、思い思いの曲を歌うと、オルガンも喜んでいような気がします。うちの子たちも、毎日進んで音を鳴らしています。思い出の詰まったオルガンを頂き、さらに思い出作りを引き継ぎたいと思っています。坊

ボランティアさん 敬称略

- | | |
|-------|-------|
| 金原美枝子 | 中嶋 芳江 |
| 秦野かねよ | 熊谷 美子 |
| 安藤 信子 | 大金スエ子 |
| 中島 雄子 | 竹中 秀子 |
| 西岡美都里 | 寺島 美代 |
| 渡井 敏子 | 朝倉 好子 |
| 別府与志子 | 秦野 宣子 |
| 市野和歌子 | 弓削 福子 |
| 矢口 和子 | 秦野 雅子 |
| 前本 功 | 有働 桂子 |
| 斉藤 悠子 | 藤野 淳子 |
| 遠嶋 信子 | 藤井千恵子 |
| 八蔵巻靖子 | 市川八重子 |
| 米村 正男 | 小寺 久枝 |
| 江田 峯子 | 吉田 彩 |
| 土田 正夫 | 大木 真紀 |
| 村井ヒテ子 | 江尻 伸子 |
| 鈴木ミネ子 | 山下トキエ |

募集

スーパーのビニール袋、使い古しの綿の肌着、タオルなど、習字用の半紙をたくさんと、オルガンをいただきました。スイカや、おやつの差し入れもありがとうございました。みなさんのご好意に支えられています。深く感謝しています。

ボランティアさん募集

お話相手、お食事づくり、カラオケ、習字(生徒)、手芸、園芸などの趣味活動

